

行田中 こだま

第255号 平成29年12月22日発行

ロードレース大会	1
いちょうの集い	2・3
体育祭	4・5
特集 地域に生きる行中生シリーズⅢ	
行田中の部活動を支える外部コーチたち	6
「足袋蔵のまち」行田 日本遺産に認定	7
P T A活動・表彰者	8

ロードレース大会

自己ベストを目指し、
声援を力に変えて、
秋空の下、風のように駆け抜けろ！



行中生を代表して

第32回 浮き城のまち行田 少年の主張大会

11/11 ~みらい~

祝「教育長賞」受賞



3年 小川祥輝くん

「踊りがつなく地域との交流」

浮き城まつりと、佐間天神社八坂祭に、生徒会として行中連で参加し、踊りを通して地域とのつながりを感じた経験を堂々と発表し、「教育長賞」を受賞しました。

中学生海外派遣研修事業

7/26~8/1 《オーストラリア》



谷口 凜くん 稲原奨太くん 河野舞彩さん

3年生の3名が参加し、シドニーでのホームステイ、現地校での授業、ファームステイを体験してきました。

北埼玉地区英語弁論大会

9/29 ~大和根アスタホール~



3年 野辺 こうめさん

「Inspiration by Passion」

困難を乗り越えて、ダンス大会で優勝した自身の経験を、パフォーマンスをまじえての英語で発表しました。



ピザを作ろう



ポンポン蒸気船をつくろう



ひざ腰安心フロアカーリング



フィットネスダンス



お茶をたしなもう



簡単マジック教室



セバククローのひみつ



古代の神器「まがたま」をつくろう



将棋をしよう



染物をしよう



楽しい! インディアカ



科学のカマアイスを作ろう



秋を生けよう



アルティメットをしよう



箏の演奏を楽しもう

響かせろ 行中声

ハーモニー率 100%

いちよのの集い

伴奏者賞

- 1年 野口 陽菜
- 2年 塩田 美玖
- 3年 柴崎 恵那



全校合唱「時の旅人」

最優秀賞 3年3組「虹」

優秀賞

- 1年2組 「Good Day Good Time」
- 2年1組 「時を越えて」
- 3年2組 「信じる」

指揮者賞

- 1年 吉田 康生
- 2年 飯塚 央翔
- 3年 田口 翔麻



一生懸命

実行委員長 小林亜弥
全クラスがそれぞれの思いを胸に、最優秀賞を目指し、心のこもった合唱をつくらうと一生懸命練習しました。本番では、皆さんの合唱がともきれいに響いて、スローガンである「響かせろ 行中声」を実現できたと思います。今回の合唱コンクールでは、一生懸命頑張るといふ楽しさが、来校してくださった方々に歌を通して伝わったと思います。

ハーモニー率100%

つかめ 輝く最優秀賞



PTA合唱団



職員合唱団

10/21 合唱コンクール

10/27 体験学習

集い

響け 行中声

音楽担当 松本拓也
今年度の音楽会は、スローガンの通り、「行中声」が響き渡る素晴らしい音楽会であったと感じています。音楽を通して感性を豊かにする。音楽会における大きな目標のひとつですが、クラスでの練習、本番を通して、大きく成長することができたのではないのでしょうか。また、PTA合唱や職員合唱も、生徒の心に残る、素晴らしい演奏でした。ご参加、ご協力いただいた保護者の皆さま、本当にありがとうございました。



手芸をしよう



和菓子を作ろう

第68回行田中学校

体育祭

9/16

その日、台風18号は日本列島に上陸。雨天が心配される中、予定通りの日程での開催となりました。曇り空の日でしたが、生徒たちの競技に真剣に取り組む姿、笑顔は輝きを放ち、明るく、熱い1日となりました。



NEW WAVE
体育主任 町田 亮
今年度は、例年よりも練習・準備期間が短く、台風が来るかもしれないと心配続きでした。しかし、当日は、生徒一人ひとりが持っている力をすべて出し、手に汗握る熱戦を繰り広げてくれました。特に、学年種目。1年のバンブーサーフィン、2年のいなばの陸王、3年の大ムカデリレーでは、クラスが一丸となり、練習の成果を十分に発揮することができました。今回新たに加わった、団対抗スウェーデンリレーでは、クラス学年関係なく大きな声援で体育祭が盛り上がりました。まさに、行田中がひとつになった瞬間でした。



優勝

1-3 2-3 3-1

全員が団結した体育祭

実行委員長 高澤 陽海

今年の体育祭は、全学年すべてのクラスが、スローガン「行中魂 FULL POWER」に恥じない、気合いの入った競技ができたと思います。今年度は「団」優勝をかけて、学年の壁を越えて応援を交わしたこともあり、学校が一丸となって体育祭を盛り上げられたと思います。



体育祭で成長出来たことを胸に、これからもいろいろなことに挑戦し続けていきたいと思います。

行中魂 FULL POWER

2年 (新競技) いなばの陸王



走れ! 走れ!

1年 バンブーサーフィン



息を合わせて!!



最高学年の誇り!



3年 大ムカデリレー



歓声! 歓喜!
くもり空を明るく照らす279人の輝き、
FULL POWER!

「足袋蔵のまち」行田 日本遺産 (Japan Heritage) に認定!

行田市教育委員会
文化財保護課長
中島洋一先生



まちの特徴を生かし、まちを元気に

行田は日本一の足袋の生産地です。「蔵のまち」は全国にたくさんありますが、「足袋蔵のまち」は全国で行田市だけ。今回、この「日本一」で「Only One」であるということが認められ、遺産に登録されることになりました。自分のまちの特徴を見つけ、それを最大限に活かすことが大切です。行田中の学区には非常に日本遺産が多い。このことを知ってもらい、これからの新しいまちづくりに興味・関心を持って、文化財を有効活用しながら、まちが元気になることに携わってもらえたらと、中島さんから生徒たちにメッセージが贈られました。

行田足袋の歴史

行田で足袋作りが始まったのは、今から約300年前。武士の妻の内職として足袋作りは盛んになったと伝えられており、約240年前には、「忍のさし足袋名産なり」と、当時の旅行ガイドブックに記されるほど有名になる。

当時は手作業のため、1人が1日に作れる足袋は1～2足だったが、明治維新後ミシンが導入され近代化をしていった。また、足袋屋が、直接地方に出向いて売り歩き、他の生産地を圧倒しながら、大正時代の末には、日本一の足袋産業に発展し、最盛期には全国の約8割の生産量があった。

足袋蔵は足袋の生産量の拡大とともに、明治30年代から、足袋を保管する倉庫として造られるようになった。現在、この足袋蔵が学区内に多く残されている。

行田中学区にある日本遺産の文化財



今津印刷所
店蔵・主屋・土蔵

足袋のラベルの印刷に携わった老舗印刷屋。行田の足袋産業を日本一に押し上げる旗振り役を担った、今津徳之助の店蔵・主屋・土蔵。(行田)



イサミコーポレーション
足袋工場

昭和初期に建てられた、ノコギリ屋根の行田を代表する大規模な木造洋風足袋工場。(向町)

構成文化財の約7割が 行田中学区に

平成29年4月28日に、「足袋蔵のまち」行田が埼玉県初の日本遺産に認定されました。日本遺産は、一つの物を文化財として認定するのではなく、地域にある歴史を表す様々な物を一つのテーマでくくり、文化・伝統を語るストーリーとして認定されます。今回認定された、ストーリーを構成する文化財39のうち約7割が、行田中の学区内にあります。5月29日、行田市教育委員会の中島洋一先生をお招きし、行田中の学区にある文化財を中心に、日本遺産について、全校生徒にお話をさせていただきました。

3校合同研修会 ～足袋蔵巡り～

こはぜを通す糸を、専用のミシンで縫い付ける実演をする、島崎忠樹さん。



「足袋とくらしの博物館」にて



修繕中の「Café閑居・足袋蔵ギャラリー」市内唯一の3階建ての足袋蔵である。(行田)

歩いてみました

8月8日、教職員・保護者を対象とした、3校(行田中・南小・下忍小)合同研修会を行いました。中島洋一先生の、「日本遺産について」の講演後、市内の足袋蔵を巡りました。日頃、なにげなく見ていたまち並みを、歴史を感じながら歩き、郷土の良さを発見できたフィールドワークとなりました。

特集 地域に生きる行中生 シリーズⅢ



行田中の部活動を支える外部コーチたち 女子テニス部コーチ 山口和之さん

行田中にある部活動12(運動部9、文化部3)のうち、外部コーチを依頼している部活動は現在7、計6名のコーチから指導を受けている。今回は、女子テニス部のコーチとして、情熱を持って生徒たちを指導している、行田市在住の山口和之さんに話を聞いた。

生徒たちの印象は、それぞれの学年によって特徴はあるものの、「聞く耳をもっている生徒が多い」と感じている。未経験者が多いため指導は難しいが、それぞれの個性、良いところを伸ばすようにしている。サーブやボレーなど、生徒たちが得意とするプレーを、試合で活かせるようアドバイスを努めている。練習中も、良いプレーには、「良かったよ、自信を持って!」、失敗しても、「誰でも失敗はするから、落ち込まない。引きずらない。頑張ろう!」と声をかける。

外部コーチを始めたきっかけは、平成23年に「知り合いのお子さんが、行田中学に入学し、そのお母さんに頼まれた」ことだった。旧行田高校でテニスのコーチをしていた経験があったためだ。当初は、その生徒さんが卒業するまでと思って引き受けたが、今年で7年目となる。

チームワークを活かし 県大会上位を狙う



試合形式での練習中に、結果を報告する生徒たち。山口コーチが、1人1人にアドバイスを伝える。

社会性を学んで 巣立ってほしい

テニスを通して学んで欲しいことは社会性・協調性という。用具の準備・後片付け、コート整備もみんなで協力してやる。話し合っって仲良くやっていく。この先、社会に出たら協調しながら、自分の力を出していくことが大切。そんな力も中学時代に身につけてほしいと思っている。そして、「練習は裏切らない。一生懸命練習をして、悔いが残らないよう、達成感を持って卒業してもらいたい。」と願っている。

部長の藤沼さんと副部長の関口さんは、山口コーチの印象を「面白くて、楽しいコーチ」と言う。時々、冗談を交えての指導が楽しいようだ。山口コーチのアドバイスを聞いて練習すると上達を実感する。技術以外でよく言われるのが「テニスはチームワーク。仲良く、コミュニケーションを大切に」。試合では、学年は関係なく、ペアを組むこともある。試合は個人、団体戦ともに、チームワークが大切だと教わっている。10月の新人戦大会は、個人戦と団体戦で県大会に出場した。



山口コーチと女子テニス部1・2年生、顧問の秋山先生

《取材を終えて》

山口コーチが指導する女子テニス部の他にも、女子バドミントン部、男子バスケット部、女子バスケット部、サッカー部、野球部、音楽部が外部コーチを依頼している。土曜日を中心だが、顧問の先生方と一緒に指導にあたっている。生徒たちは、部活動を通してコーチの方々から、技術面以外にもチームワークの大切さ、社会のルールやマナーも教えていただいていると感じた。部活動を支えている貴重な存在。日頃の活動に感謝申し上げたい。



技術指導をする山口コーチ

9/3 第3回家庭教育セミナー PTA研修旅行



保護者、教職員計39名が参加し、アクアワールド大洗水族館を見学、親睦をはかりました。

11/18 第4回家庭教育セミナー マジックショー・閉講式

ユウリ君と鴻巣マジック同好会によるマジックショーが行われました。トランプマジックでは、参加者の目をキラキラさせ釘付けにしました。終了後、今年度の家庭教育セミナーの閉講式を行いました。セミナー開催に多大なるご協力をしていただきました佐間公民館の皆さま、文教部の方々、ありがとうございました。



マジック講習では、参加者もロープを使って挑戦し、とても楽しい講座となりました。

プロマジシャン・ユウリ君

8/19 親子除草 9/9 厚生部除草

きれいな行田中のために 厚生部長 齋藤弘美



上: (8/19) 親子で除草作業に取り組みました

下: 草刈り機で除草作業をしてくださった竹内さん



9月9日の除草で今年度の作業が無事終了しました。暑い日も小雨の日もありましたが、作業によって校内の雑草がみるみる無くなっていくのが、気持ち良かったです。隣の竹内さんにはいつも草刈りをしていただいで、本当に助かりました。
例年より一回少ない除草作業でしたが、皆さんのご協力のおかげで常にきれいな行田中を保つことができました。ありがとうございました。

11/22 由紀さおり・安田祥子手づくり学校コンサート

由紀さおりさんと安田祥子さんが、16年間続けてきた「手づくり学校コンサート」。今回、本校の体育館で開催され、全校生徒、保護者、地域の方々と、ピアノの生演奏と共に、姉妹の美しいハーモニーで魅了しました。
先人たちが歌い継がれている歌を通して、私たちの母国語である日本語の正しい発音、言葉の美しさを伝えてくれました。音楽部の2、3年生もステージに上がり、由紀さん、安田さんと一緒に、綺麗な歌声を披露しました。また、会場全員で「ソレアード」を歌い、一体感に包まれ、貴重な体験となるコンサートでした。



10/14 三校合同人権教育研修会

人権教育担当の今成健先生を講師としてお迎えし、「豊かな人権感覚の育成、人権を体験しよう」と題した研修会が開催されました。アイスブレイキング(初対面の人が集まる場での緊張をほぐすためのプログラム)を用いたグループディスカッションでは、グループの方と話し合うことで自身の人権感覚を磨くことができました。親子間のコミュニケーションの大切さ、子どもの人権を尊重することの大切さを再認識できました、大変貴重な経験となりました。



埼玉県教育局 市町村支援部人権教育課 人権教育担当 今成 健 先生



10/31 ロードレース大会 各学年の入賞者



足袋を履いて走る生徒もいました!

1年男子

- 1位 狩浦 斗希
- 2位 鯨井 崇太
- 3位 古木 蓮人
- 4位 加相 政宗
- 5位 清水 堅太
- 6位 中澤 綾斗
- 7位 平野 瑛也
- 8位 橋本 晃希
- 9位 金子 直樹
- 10位 服部 宗将

1年女子

- 越 もえ香
- 小島 愛未
- 遠藤 凧紗
- 栗藤 明里
- 大久保 莉佳
- 堀越 佑希
- 小池 佑希
- 井手 愛結
- 荻原 花梨
- 市原 愛美

2年男子

- 1位 飯塚 央翔
- 2位 平野 夢太
- 3位 泉瀧 駿太郎
- 4位 羽鳥 碧
- 5位 室田 虎太郎
- 6位 長浜 結宇
- 7位 橋本 大輝
- 8位 牧 龍之介
- 9位 遠藤 大士
- 10位 齋藤 禪

2年女子

- 山元 架音
- 高橋 優
- 舞原 小夏
- 福島 葵
- 船橋 知夏
- 鬼塚 櫻子
- 齋藤 千尋
- 堀田 美玖
- 関上 こもも
- 田口 美翔

3年男子

- 1位 富岡 瑞
- 2位 齋藤 優一
- 3位 岡安 樹
- 4位 平塚 豪人
- 5位 守屋 真海
- 6位 高平 陽
- 7位 高平 鉄
- 8位 生田 誉久
- 9位 内川 梨久
- 10位 小島 拓也

3年女子

- 高橋 愛美
- 近藤 野乃華
- 小林 亜弥
- 山崎 碧
- 野中 紀歩
- 二戸 悠
- 山代 修
- 河野 舞彩
- 平野 彩菜
- 柴崎 惠那

2学期の主な表彰

《県大会出場者》 北埼玉地区秋季総合体育大会

男子総合 2年1000M 第2位 鈴木 健斗

2年1000M 第3位 松島 大梧

2年1000M 第4位 松島 大梧

2年1000M 第5位 牧野 龍之介

2年1000M 第6位 飯塚 央翔

2年1000M 第7位 飯塚 央翔

2年1000M 第8位 飯塚 央翔

2年1000M 第9位 飯塚 央翔

2年1000M 第10位 飯塚 央翔

2年1000M 第11位 飯塚 央翔

2年1000M 第12位 飯塚 央翔

2年1000M 第13位 飯塚 央翔

2年1000M 第14位 飯塚 央翔

2年1000M 第15位 飯塚 央翔

2年1000M 第16位 飯塚 央翔

2年1000M 第17位 飯塚 央翔

2年1000M 第18位 飯塚 央翔

2年1000M 第19位 飯塚 央翔

2年1000M 第20位 飯塚 央翔

編集後記

報告と御礼

昨年度に引き続き、今年度も北埼玉地区広報紙コンクールにおいて、最優秀賞を受賞いたしました。写真撮影や原稿等、生徒の皆さん、先生方や保護者の皆さま、地域の方々にご協力いただき、誠にありがとうございました。



北埼玉地区秋季総合体育大会(陸上) 4x100Mリレー 1位 (前から、根岸・鈴木・牧・松島)

北埼玉地区新人体育大会 テニス (団体) 女子テニス部 第7位 藤沼和花・関口麻央

種目	順位	選手名
砲丸投げ	第1位	根岸 鈴木
陸上女子 1500M	第2位	室田 虎太郎
走り高跳び	第1位	牧 龍之介
4x100M R	第1位	根岸 鈴木・牧 龍之介・鈴木 健斗
走り高跳び	第2位	鈴木 健斗
走り高跳び	第3位	鈴木 健斗
走り高跳び	第4位	鈴木 健斗
走り高跳び	第5位	鈴木 健斗
走り高跳び	第6位	鈴木 健斗
走り高跳び	第7位	鈴木 健斗
走り高跳び	第8位	鈴木 健斗
走り高跳び	第9位	鈴木 健斗
走り高跳び	第10位	鈴木 健斗